



〒211-0035 川崎市中原区井田 3-10-31  
公益財団法人 現代人形劇センター内  
TEL : 044-777-2228 FAX: 044-777-3570  
e-mail : deaf@puppet.or.jp URL: http://deaf.puppet.or.jp/

Twitter, Facebook もやっています！

## 中国地方ツアー レポート



by. 中西優樹

早いもので今年ももう終わりが近づいてきました。皆様、良い一年だったでしょうか。今年には色々なことがありましたが、9月に行われた『河の童』中国地方のツアーのことを振り返りたいと思います。中国地方ツアーは9月21日（土）に倉敷市での公演から始まりました。倉敷市公演の主催は倉敷市の文化振興財団です。中国地方は倉敷市も含めて、前年に大雨の被害が多くあった地域です。そこで倉敷市の文化財団では、豪雨災害復興支援事業として今回の『河の童』公演を取り組み、公演終了後はロビーで復興の義援金を集めました。公演全体に言えることですが、デフパペの公演を通じて少しでも災害などの被害に遭われた方々の心をいやすことができればいいな…とっております。倉敷市では、100人規模の会場で80人前後のお客さんに来て頂きました。一日空いて、9月23日（月・祝）は島根県出雲市での公演。出雲市の手話サークルや聴覚障害者協会の方達が集まって、実行委員会として公演を取組んでくれました。以前からデフパペを呼んでくれている人も関わっている実行委員会で、そのおかげもあってか公演までスムーズに進むことができました！公演当日もデフパペの事を以前から知っているお客さんも多く、とてもいい雰囲気の公演になりました。今回のデフパペの「河の童」ツアーでは今までの公演にはない要素がありました。一つは、四月からケガで休んでいた善岡が復活したことです。新人の加藤が入ってから善岡との公演は初めて。新しいメンバーで、これまでにない新しい河童をお届けすることができたのではないかなと思います。もう一つ、今回の公演からベテランの榎本トオルが変わって、新しく鈴木文が舞台監督として采配を奮ってくれました！そんな様に、河童も様々な新しい変化を迎えており、一度観てくれた方も、まだ観ていない方も面白く観られると思います。是非また皆様と河童でお会いできれば嬉しいです！

## 実行委員さんによる

### ここだけのはなし 一出雲編一

2019年9月23日の午後、出雲市のビッグハート白のホールでデフ・パペットシアターひとみ「河の童」の公演をおこないました。数年ぶりの出雲公演でした。出雲市ではちょうど2年前に「手話言語条例」を制定しており、ろう者や手話について理解を広げる一端でもありました。地区のろう協会と、市内手話サークルのメンバーを中心に実行委員会を結成して準備にあたりました。デフ・パペがちょうど中国地区に来られる機会にということでこの日程になりましたが、前日まで全国ろうあ者体育大会を鳥取・島根で引き受けていて、出雲市では4競技がおこなわれ、実行委員を含め手話関係者は直前までそちらに力を注がざるを得ない状況でした。そのような中でのチケット販売でかなり苦戦することになりました。また、直前には台風が来て、劇団の方たちが来られるのかという心配もありましたが当日は天候も回復し快晴になりました。当日はどれだけの来場者があるのか不安でしたが、結局は約250名の方が来られてほぼ満席でした。実行委員が1人ひとりに声をかけ、ロコミで広がり、SNSも駆使し、ラジオ番組にも出演とあらゆる方法でPRに奮闘した結果でしょうか。嬉しい限りです。以前手話サークルにいられていた方なども来て下さり、久々の再会もありました。劇の最後が期待していたようなハッピーエンドではなく、個人的には少しもやもやありましたが、ほぼセリフのない劇を来られた皆さんには楽しんでいただけたようでした。幕が下りてから人形がロビーに出てくるとたくさんの方が並んで一緒に写真を撮っていたのが印象的でした。劇団のグッズもかなり買っていただきました。ろう者と聞こえる人が一緒に作る大切な活動だと思ひますし、次に新しい演目が作られたら、来ていただけることを願っております。なお、本公演に対して出雲メセナ協会よりご支援をいただきました。

出雲市実行委員会 小林



令和元年度文化庁文化芸術による子供育成総合事業 - 巡回公演事業 - にて、東北・北海道の小中学校10校で「はこ/BOXES～じいちゃんのオルゴール♪～」の上演と事前WSを実施しました。この事業に劇団が参加するのは、今年で5年目。鈴木文によるレポートです。

今年の学校公演も無事終わることが出来ました。今年は東北地方と北海道の学校を回りました。台風19号の爪痕が生々しい最中、ご尽力いただいた皆さまには心より感謝申し上げます。

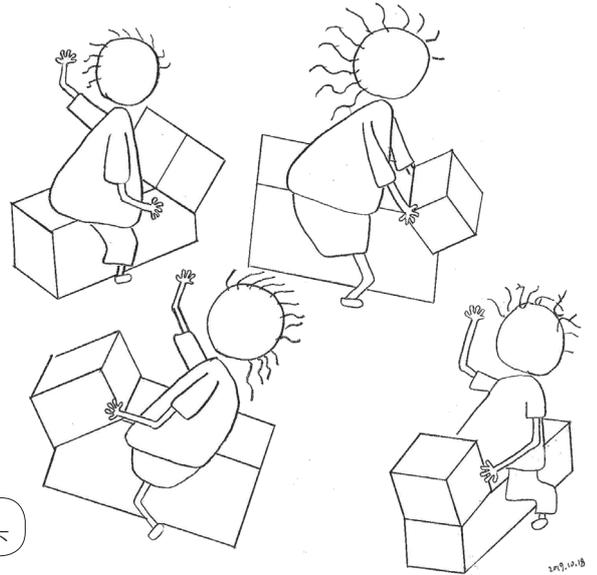
このプログラムでは本公演の時に生徒児童の皆さんにも発表してもらいます。その内容は、空き箱や段ボール箱を使い何かに見立てて、セリフは使わず身振りと表情で表現するというものです。

この発表を見ると、今年何があったのか、話題になったのか、など改めて気づかされます。

今年のトピックは「新元号発表」でした。それから根強い題材が「ゲーム」関連、お誕生日会、プロポーズ、ちょっと背筋が寒くなるころでは、強盗事件、交通事故など。子どもたちは本当によく観察をしています。まさに世相を映す鏡、怖いくらいです。

それとは逆に、ちょっと物足りなく感じてしまうのが、観劇のワイルドさ。みんな基本的によく見ているのですが、受け身すぎとも感じます。それは私たち演じる者の課題です。劇を見るのがもっと能動的になるように、見る事が躍動することに繋がるように、そんなパフォーマンスを届けたいです。とはいっても具体的にどうすればいいのか、模索中。多分ヒントは、これからの活動で見つけられる…来年もがんばります！

鈴木文



画・榎本トオル

クイズ★何に見えましたか？  
(ヒント・遊園地) 答えは本紙下

## 公演スケジュール

### 河の童 - かわのわっぱ -

2019年  
12月15日 山口県 防府市  
2020年  
2月22日 長崎県 長与市  
3月7日 群馬県 大泉町  
3月8日 茨城県 つくば市  
3月28日 岩手県 大船渡

### 稲むらの火

2020年  
2月1日 石川県 かほく市

### 一寸法師

2019年  
12月21日 静岡県 焼津市

◆ 2020年度「河の童」公演予定  
5月東北・東海ツアー 6月関西ツアー  
8月栃木・長野・中国地方・九州ツアー  
詳細は劇団までお問い合わせください。

2020年もよろしくお祈いします！



画・榎本トオル

## ラオス×日本の共同ワークショップ in ラオス

昨年に引き続き、今年もろう者が参加するラオスの「劇団カオニャオ」との共同制作を実施します。

【日程】 1月10日～19日

【会場】 カオニャオスタジオ (ピエンチャン) ほか

【主催】 (公財) 現代人形劇センター

【助成】 国際交流基金

★ 2020年9月7日-19日はカオニャオが来日し、川崎の稽古場にて共同制作を実施します。(19日公開発表予定！)

## ★劇団員募集中★

人形劇団デフ・パペットシアター・ひとみでは、役者を募集しています。

【条件】

耳が聞こえない・聞こえる、問いません。

手話でお話するのが好きな方、手話に興味のある方。年齢・入団日は応相談。

【お問合せ先】

TEL : 044-777-2228 FAX: 044-777-3570  
e-mail : deaf@puppet.or.jp

## デフ・パペットシアター・ひとみ メンバー

善岡修 榎本トオル やなせけいこ  
鈴木文 増子仁美 加藤埜明  
吉村衣世 中西優樹 池内剛志

クイズの答え★メリーゴーランド

## ◆寄付・賛助会員について◆

デフ・パペットシアター・ひとみの企画運営をしている(公財)現代人形劇センターでは、人形劇の普及・発展のために、様々な活動を行っており、活動に共感いただいている方の参画をお待ちしています。ここでの収益は、デフ・パペットシアター・ひとみを含む、現代人形劇センターの事業の活動資金となります。詳細は現代人形劇センターHPまで。

## ★デフパペ友の会★

デフ・パペットシアター・ひとみでは様々な特典のある【友の会】を募集しています。

- ・年会費  
個人会員 1500円  
ペア会員 2500円

- ・特典  
デフパペ公演割引  
グッズお買いものチケット  
デフパペニュースのお届け  
オリジナルお誕生日カード